

環境活動レポート

環境活動レポート

【活動期間 2010/11～2011/10】



2011年12月9日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力 章喜

環境方針

【基本理念】

株式会社久力製作所は、住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリーなど)の製造において、安全で快適な暮らしを確保する為の一員として事業活動を行うと共に、皆の財産である霞ヶ浦(北浦)の保全と地域社会とのコミュニケーションを推進し、環境保全活動を積極的に推進してまいります。

【基本方針】

1. 環境関連の法規制等を遵守する。
2. 廃棄物の排出量及び最終処分量の抑制とリサイクル化を推進する。
3. 無駄なエネルギー利用は排除し、業務効率の向上により、省エネルギーに努める。
4. 金属屑の積極的な省資源活動に取り組む。
5. エコアクション21の活動を通じ、従業員の環境保全意識を高める。
6. 環境方針は、環境掲示板への掲示と説明で全従業員に伝達し、理解させる。

平成 2010年 4月 23日
株式会社 久力製作所
代表取締役 久力 章喜

会社／事業活動の概要

1. 会社名／代表者名

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力章喜

2. 所在地

本社工場 茨城県行方市小貫1681 (EA21 認証・登録サイト)

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 柄本修一
連絡先 TEL : 0291-35-2636 FAX : 0291-35-2683

4. 事業概要

住宅部品(ドアロック,ドア部品,ユニットバス部品,トイレアクセサリなど)の設計、
開発、製造及び販売

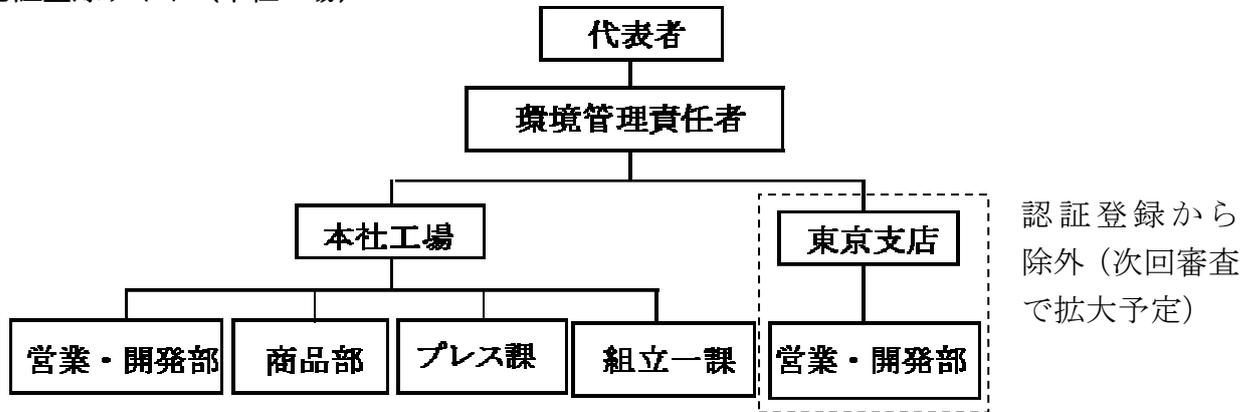
5. 事業規模

項目	単位	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
生産高	t	3,222	2,779	3,056	3,842
売上高	百万円	2,363	1,922	1,728	1,864
従業員	人	70	66	68	69
床面積合計	m ²	1,500	1,500	1,500	1,500

認証登録の範囲

1. 事業所

認証登録サイト（本社工場）



2. 事業内容

住宅部品（ドアロック, ドア部品, ユニットバス部品, トイレアクセサリなど）の設計、開発、製造及び販売、全ての事業活動に適用している。

環境目標と環境活動計画

No.	環境目標項目	単位	認証サイト	実績 (値)	目標 (値)		
				2010 年度 (基準年)	2011 年度	2012 年度	2013 年度
1	電力使用量の削減 【2010 年度実績値】	kg-CO2	本社工場 東京支店	44,991 20,000	1 %減	2 %減	3 %減
2	化石燃料使用量の削減 【2010 年度実績値】	kg-CO2	本社工場 東京支店	31,574 449	1 %減	2 %減	3 %減
3	水使用量の削減 【2010 年度実績比】	m ³ /人	本社工場	0.55	1 %減	2 %減	3 %減
4	コピー用紙使用量の削減 【2010 年度実績値】	枚	本社工場 東京支店	390,000 2,000	1 %減	2 %減	3 %減
5	グリーン購入の推進【事務 用品購入金額に対するグ リーン品の比率】	%	本社工場 東京支店	71.3 70.0	75%	80%	85%
6	金属屑の削減 【2010 年度実績値】	t	本社工場	49.7	1 %減	2 %減	3 %減

環境目標の実施

1. 環境目標の達成度

○…目標達成 △…やや未達（100未満～80%） ×…未達（80%未満）

No.	2011年度環境目標	単位	認証サイト	目標値	実績（2010年11月～ 2011年10月）	目標達成率	評価
1	電力使用量の削減 【2010年実績比1%減】	kg-CO ₂	本社工場	44,541	※42,020	104%	○
			東京支店	1,980	※1,957	100%	○
2	化石燃料使用量の削減 【2010年実績比1%減】	kg-CO ₂	本社工場	37,198	24,663	151%	○
			東京支店	445	404	110%	○
3	水の使用量削減 【2010年実績比1%減】	m ³ /人	本社工場	0.54	0.53	102%	○
4	コピー用紙使用量の削減 【2010年実績比1%減】	枚	本社工場	386,100	305,000	127%	○
			東京支店	1,980	1,500	132%	○
5	グリーン購入の推進【事務用品 購入金額に対するグリーン品の 比率】	%	本社工場	75	79	105%	○
			東京支店	75	100	133%	○
6	金属屑の削減 【2010年実績比1%減】	t	本社工場	49.2	26.5	186%	○

※購入電力の使用によるCO₂排出係数は、0.384kg-CO₂/kwhで算出しています。

環境活動の取り組み結果とその評価

No.	環境目標項目	今年度の実績に対する評価と次年度の取り組み
1	電力使用量の削減	使用していない場所及び時間帯の節電を徹底した結果、目標達成となった。次年度はLEDへの移行など積極的に実施する。
2	化石燃料使用量の削減	無駄な暖房の抑制、公共機関の利用により目標達成となった。次年度も無駄を省き、継続する。
3	水の使用量削減	節水コマ設置と節水活動が全社的に継続して実施され、効果的に削減された。次年度も節水コマの取り換えなど定期的にメンテナンスを行う。
4	コピー用紙使用量の削減	使用済みの裏面利用が継続、実施された。次年度も徹底して実施する。
5	グリーン品購入の推進	全体の購入金額の大きいPPテープがグリーン品となり、目標を達成した。次年度はアイテムの見直しなどを行う。
6	金属屑の削減	プレス加工原材料のコスト削減、不良品発生量の減少により目標達成を達成した。次年度も継続して省資源活動に取り組む。

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

1. 下記の主な法規制を含む全ての適用する法規制の評価において遵守していることを確認した。

法規制	チェック結果	状況
廃棄物処理法、茨城県及び行方市条例	○	問題なし
PRTR 法	○	問題なし
RoHS 法	○	問題なし
労働安全衛生法	○	問題なし
消防法及び行方市条例	○	問題なし
騒音規制法及び茨城県条例	○	問題なし
振動規制法及び茨城県条例	○	問題なし
その他の法規制	○	問題なし

2. 違反・訴訟など

- ・環境関連法規について過去4年間、関係機関等からの指摘は無く、又訴訟などありません。
- ・また、内部の遵守評価においても法令違反はありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境方針

前年度より当社の事業内容（プレス加工など）から省資源活動への取り組みを重視した内容を追加しました。次年度も引き続き、基本理念どおりの環境保全活動を推進します。

2. 環境目標

本年度よりガイドライン（2009年度版）移行に準拠し、環境に与える負荷を軽減する為、事業活動に適した計画を立て活動してきました。特に製造原価の低減にも繋がるなど、有効性がある内容については継続拡大し、全社的に実施します。

3. EMS・その他の事項

環境経営マニュアルをベースとしてより効果のある運用を推進すること。大きく掲げた目標に向かって、無理なく出来る活動を持続的に実現します。本年度より東京支店を含め全組織に展開し、徹底した5S活動と共にE A 2 1活動を行います。